

ニセコ町観光振興計画改訂ワーキンググループ
検討経過

1. ワーキンググループ 構成員

- ・片岡 直人
- ・加藤 淳
- ・木下 裕三
- ・関 規明

2. 検討経過

9月20日（木）18：30～20：00

出席：片岡、加藤、木下、関、事務局（山本、小椋）

○目標設定について

- ・山の客が市街地に下りてくるのが大事
→独自アンケート調査？
- ・観光客数のみならず、「観光客満足度」、「観光消費額」も大事

○ニセコブランドとは何か、ニセコが大切にする価値は何か

- ・スキー場におけるコース外滑走
- ・ニセコのような林間コースは諸外国にない。
- ・退職者が家を建てているのが多い。リタイヤ後に住みよい町はニセコだけでは。
- ・若者の移住も多い。移住したくなる所。
- ・ライフスタイルが見せられる施策があると良い。
→「住みたくなる所」、「住んで良し」の発信
→「こういう理由で住んだ」「こういうことをして住んでいる」という話
- ・ペンションはペンションの呼称を止めて、「〇〇さん家」にして、宿泊ではなくて、「ホームステイ」という位置づけとしてはどうか
- ・アワガラスの客は皆、佐藤さんのブログを見て来ている。
→個人の魅力が大事？

10月1日（月）18：30～20：00

出席：木下、関、事務局（山本、小椋）

○ニセコブランドとは何か、ニセコが大切にする価値は何か

- ・「移住」、「ロングステイ」という言葉は、他の言葉にならないか。何か違う言葉があると良い。
→「生涯リゾート」？

○人材育成・交流

- ・観光客が狩太神社祭に出られるようにしてはどうか（例：奴、子供奴）
- ・事業者は、地元の人にまず知ってもらうのが大事（例：地元割引）。
- ・地元の人々の口コミが観光客にとって一番影響力がある。
- ・山と街との交流が必要。交流の中で観光客への説明能力が育まれる。

10月10日（水） 18:00～21:00

出席：片岡、木下、関、事務局（山本、小椋）

○地域資源の活用

- ・雪崩に係る「ニセコルール」は、ゲート別に難易度を表示してはどうか。
（立ち木に衝突して死ぬ人もいるため）
- ・小さい子ども（未就学児）が遊べるスペースが少ない。
- ・観光客や地元の人が野外でバーベキューやジンギスカンを楽しめる場所を作
てはどうか。
→周りに住宅が無いこと、トイレや水場があることが条件。
→有島記念館周辺ではどうか。

10月17日（水） 18:30～20:00

出席：加藤、木下、関、事務局（山本、小椋）

○プロモーション活動の強化

- ・平成23年度夏期満足度調査結果により、「夫婦旅行」「子供連れ家族旅行」が
重点を置くべき誘客対象と判明したことから、こうしたターゲットに特化した
マップやパンフを作成してはどうか。
- ・窓口で公園のことをよく尋ねられるが、関心事は場所ではなく、「どういう遊具
があって何ができるか。」ということ。こうしたことが判るパンフがあると良い。
- ・国内、海外ともセールス活動は行政が先頭に立って行っても効果が見込めない
ので、民間に任せた方が良い。
- ・民間が行うセールスコールを補助金で支援するという手法もある。
- ・本年度、教育旅行のFAMを実施したが、招へい対象者も忙しく2泊3日の行
程では来てもらえなかったりもする。地元事業者からは、FAMだけではなく
相手先に出かけるのも良いのではという意見もあった。
- ・地元の魅力が増すことにより、口コミで自然と人が集まるようになる。まず足
元をしっかりとさせることが大事。
- ・来ている人をターゲットにしたプロモーションも大事。
- ・食のPR手法として物産展に参加するのは良いこと。単年度で成果を出すのは
困難なので、3年なりの時限を区切った上で、駄目なら撤退するという姿勢で
臨むと良い。
- ・物産展出展について、「〇年行った後、どうなるのか。」という将来像が必要。

10月25日（木） 18:30～20:30

出席：木下、関、事務局（山本、小椋）

○広域観光の推進

- ・山全体のコース、ゲート規制、バス交通が一まとめになったマップが判ると良
い。今でもパンフ類は統一されていない。
- ・山のゲートについては、ゲートの所に行かなければ開いているかどうか判らな
い。判るともっと良くなる。
- ・スキー場のコース外では、目印となる看板一つない。知っている人だけが円滑
に滑ることができる。素人が行ったら戻れなくなる箇所があるほか、コブ斜面

に木が生えているような所もある。

- ・ 現在検討しているニセコ観光局については、山のことにしぼった観光局としてはどうか。ニセコ町、倶知安町の市街地同士の連携は難しいが山に限れば一元化できる。
- ・ 山の環境整備に向け、スキー客に対し、ゲレンデ環境や交通機関に関するアンケートを取ると良い。

○受入環境の整備

- ・ スキー場の安全管理について取組を進める必要がある。
- ・ 町長政策、総合計画の理念について計画に盛り込む必要がある。
- ・ スポーツツーリズムの振興についても計画に盛り込みたい。
- ・ 自転車、フットパス、ノルディックウォークの振興。
- ・ 自転車はシニア層の利用にもっと注目して良い。今のロードレースタイプの自転車はシニアは乗れない。